



# おきぎん経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号-3階 電話(098)869-8711

2024年 2月 28日

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

沖縄県民の

自動車購入における動向調査

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

問い合わせ先 電話：098-869-8711 FAX 098-869-2200 担当 小嶺、比嘉  
メール：oei-corp@okinawa-bank.co.jp

現場主義とお客さまからの信頼

## 1. 調査概要

沖縄県民の自動車購入における動向調査を行いました。沖縄県民が自家用車を購入さする際、自家用車のタイプや購入方法、購入のきっかけ等についてインターネット調査を実施し取りまとめました。

(以下、調査概要を記載。)

調査方法：インターネット調査

調査期間：2023年11月10日～11月13日

対象者：沖縄県在住の18～69歳かつ直近7年以内に自家用車を購入したことのある方

抽出方法：インターネット調査会社（株式会社サーベロイド）が保有するモニターから抽出

有効回答数：480 サンプル

主な設問：購入のきっかけ、購入予算、資金の調達方法

### 回答者属性（％）

図1：性別

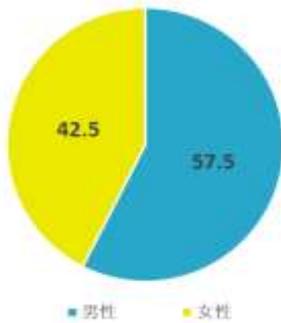


図2：未既婚

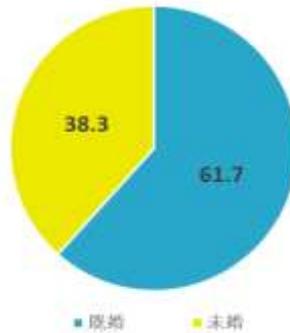


図3：世帯主



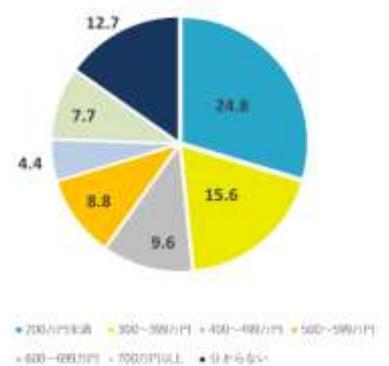
図4：年齢



図5：職業



図6：個人年収

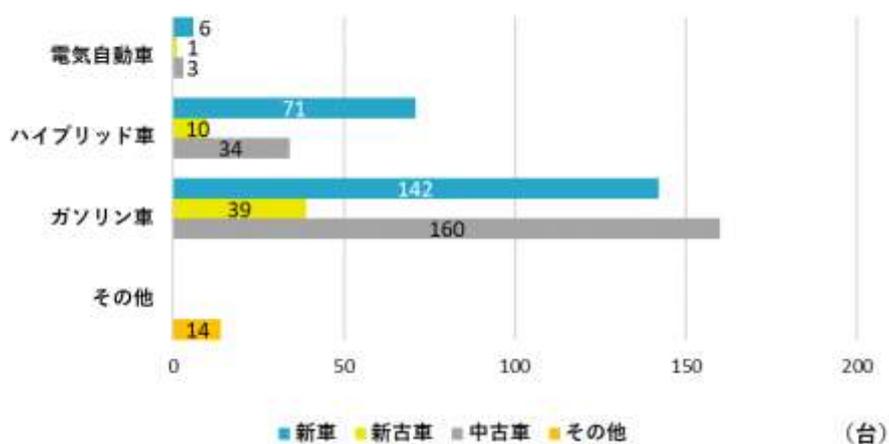


## 2. 調査結果

### ◆ 自家用車タイプ（n = 480）

最も多く購入されている自動車のタイプはガソリン中古車で160人、続いてガソリン新車で142人とガソリン車を購入している方が多い結果となりました。次いで、多かったのはハイブリッド新車で71人となりました。電気自動車を購入したのは新車、新古車、中古車合わせて10人と少ない結果となりました。

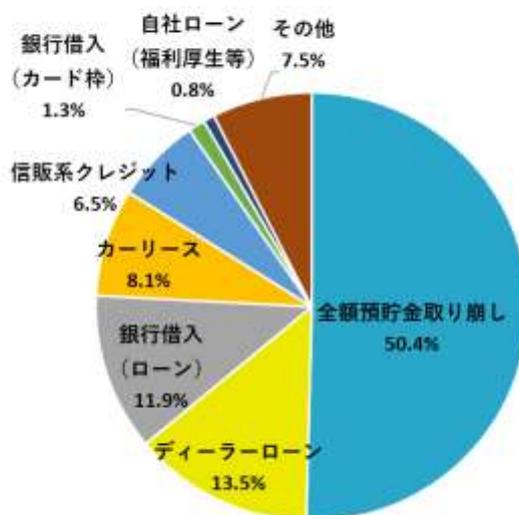
図7：購入自動車のタイプ



### ◆ 購入方法（n = 480）

自動車の購入方法では、「全額預貯金取り崩し」が50.4%と最も多い購入方法となりました。次いで「ディーラーローン」13.5%、「銀行借入（ローン）」が11.9%、「カーリース」が8.1%、「信販系クレジット」が6.5%、「銀行借入（カード枠）」が1.3%、「自社ローン（福利厚生等）」が0.8%、「その他」が7.5%という結果となりました。

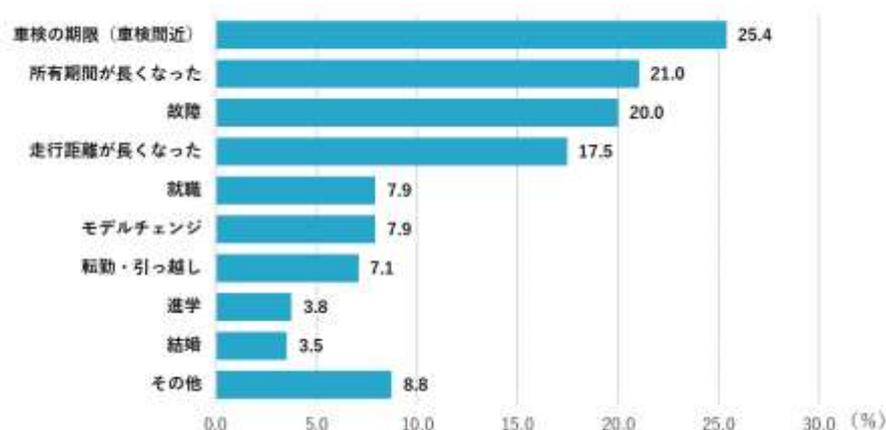
図8：自動車購入方法



◆ 購入のきっかけ（n = 480）

購入を決めたきっかけでは、「車検の期限（車検間近）」で自家用車を購入するきっかけとしている方が25.4%と最も多い結果となりました。次いで、「所有期間が長くなった」が21.0%、「故障」20.0%、「走行距離が長くなった」17.5%、「就職」・「モデルチェンジ」7.9%、「転職・引っ越し」7.1%、「進学」3.8%、「結婚」3.5%、「その他」8.8%となりました。

図9：購入のきっかけ



◆ 購入方法×購入予算金額（n = 480）

購入予算金額別で見ると、「150～199万円」が最も多く20.4%、次いで「100～149万円」が16.9%、「50～99万円」が15.0%、「50万円未満」が14.0%、「200～249万円」が12.7%、「250～299万円」が8.8%、「400万円以上」が6.5%、「350～399万円」が3.8%、「300～349万円」が2.1%となりました。

「全額預貯金取り崩し」で購入している層は低価格帯の自家用車を購入している傾向がうかがえる結果となりました。

表1：購入方法×購入予算金額

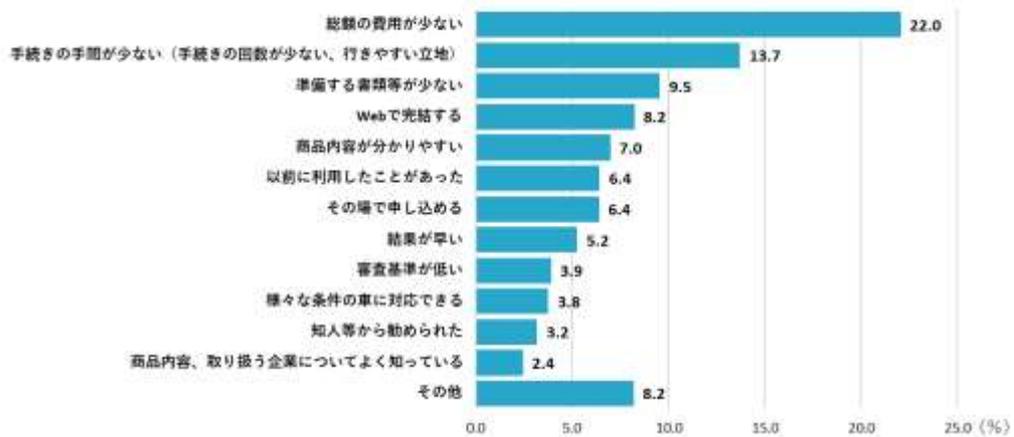
(人)

	50万円未満	50～99万円	100～149万円	150～199万円	200～249万円	250～299万円	300～349万円	350～399万円	400万円以上	全体に占める割合
全額預貯金取り崩し	46	41	37	44	27	18	6	7	16	50.4%
銀行借入 (ローン)	1	4	14	12	8	8		8	2	11.9%
銀行借入 (カード枠)	1	1		2	1	1			0	1.3%
信販系クレジット	2	9	6	5	4	3	1	1	0	6.5%
ディーラーローン	4	9	10	16	10	10			6	13.5%
カーリース		1	10	10	10	2	3	1	2	8.1%
自社ローン (福利厚生等)			1					1	2	0.8%
その他	13	7	3	9	1				3	7.5%
全体に占める割合	14.0%	15.0%	16.9%	20.4%	12.7%	8.8%	2.1%	3.8%	6.5%	

◆ ローン等を選択する際に、重視する点（n = 480）

ローン等を選択する際に最も重要視されている点は「総額の費用が少ない」ことで22.0%、次いで「手続きの手間が少ない」が13.7%、「準備する書類が少ない」が9.5%という結果となりました。

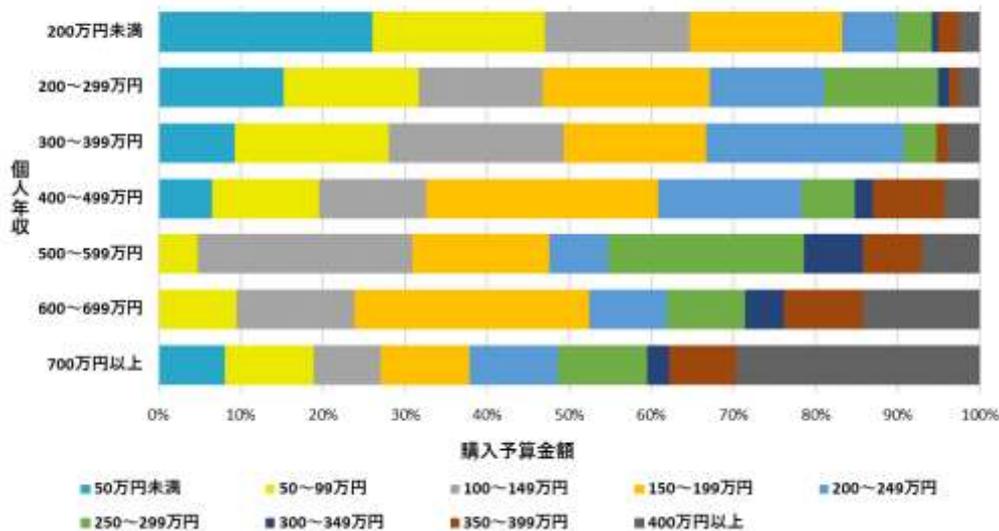
図10：ローン等を選択する際に重視する点



◆ 個人年収×購入予算金額（n = 419）※「個人年収」未回答者除く

個人年収「200万円未満」の層は100万円未満の自家用車を購入している割合が高く、年収が上がるにつれ購入予算金額も大きくなっている傾向がうかがえます。

図11：個人年収×購入予算金額



### 3. 考察

沖縄県民の自動車購入についてのアンケート調査を行いました。購入方法としては「全額預貯金取り崩し」が全体の50.4%を占めており、またその中でも半数が150万円未満の自家用車を購入している結果となりました。

- ・ローン等を組まずに預貯金で購入できる範囲の自家用車を購入している方が半数
- ・購入時の初期費用が低い自家用車を購入している傾向がみられる
- ・個人年収が高い層が「全額預貯金取り崩し」で購入しているわけではない

以上のことから、自家用車を購入する際にローン等を選択せず預貯金で購入できる範囲の自家用車から検討、購入していることが推察されます。しかし「ローン等を選択する際に重視する点」の回答で最も多かった「総額の費用が少ない」ことを購入者が最重要視しているのであれば、ローン等を利用することで預貯金の範囲内で購入できる車両よりも燃費の良い、環境にやさしく、かつ年式が新しい（長期間乗車できる）、自家用車が購入できトータルコストを安く抑えられることも考えられます。

初期費用だけで判断せずにトータルコストで考えローン等の選択も視野に入れ、自家用車購入を検討することも一案となると考えられます。